

9 収穫適期の判断

- POINT1** 収穫の目安は出穂からの積算気温で約1,000℃です。
- POINT2** 玄米サンプルで適期判定を行います。穂揃いが悪い場合は調査箇所を増やし、平均して判断します。
- POINT3** 早期に倒伏した場合は、株ごと腐り、玄米品質は著しく低下します。健全な場所やほ場の玄米と区分して、別に刈り取りし、別に乾燥調製することが望ましい。
- POINT4** 直播ほ場は良く乾くので、収穫後は稲わら収集や土づくりを積極的に行いましょう！

天候不順の秋でもほ場が乾き
稲わら収集が可能！



穂揃い良好。このようになるには、苗立ち確保が大切。発熟も早く、良好である。



苗立ちが悪い場合は、このようになる。追肥で穂数は確保できたが、穂揃いは悪い状態。



なびきは特に問題はない。多収が期待できそう！



左は倒伏した。整粒歩合が8%程度低下した。



成熟に向かう様子。
(イメージ)



この状態で大地の星は刈っては
いけない！ 枝梗が青い。



刈って良い状態。穂先の枝梗が
枯れ始めるまで待とう。